

白山市河合町の地すべり災害について



1 被害状況

- (1) 発生日時：令和8年3月10日（火）午前7時40分頃
- (2) 発生場所：白山市河合町地内（県道44号小松鳥越鶴来線沿い）
- (3) 規模：幅約100m 斜面延長約200m
- (4) 周辺状況：発生斜面下方100mに高齢者の入所施設「ケアハウス鳥越」、障がい者の入所施設「グループホーム青い鳥」等あり。現時点で人的・建物被害無

2 災害発生後の対応状況

- (1) ケアハウス鳥越等の入居者等・周辺住民（77名）は現在、県の要請に基づき、鳥越小学校や同系列の入所施設、親類宅等に避難中（うちグループホーム青い鳥の入所者は関連施設へ避難済み）
- (2) 崩落斜面直下の県道小松鳥越鶴来線は約1km通行止め
- (3) 県の防災アドバイザー（金沢工業大学・川村名誉教授）を現地に派遣し、緊急調査を実施
- (4) 白山市が避難物資（布団・食料）を準備しており、県も必要に応じて支援
県からは健康福祉部が避難所にリエゾンを派遣し支援を継続中

3 今後の対応

- (1) 緊急調査を踏まえ、調査コンサルタント会社により斜面の応急復旧工法について検討
- (2) 13時30分時点で鳥越小学校に避難中の43人（ケアハウス鳥越の入所者・職員）については、午後、近隣の鳥越コミュニティセンターや系列施設に移送予定

白山市河合町の地すべり災害について



ケアハウス鳥越